ちのめ市議会だより

第59号
2026.12.1

令和８年９月定例会

総務環境委員会と経済建設委員会の行政視察の様子

総務環境委員会



山梨県富士吉田市

ふるさと納税の取組について

総務環境委員会



愛知県豊田市

水素社会構築戦略に基づく地域エネルギー・モビリティ政策について

経済建設委員会



京都府福知山市

水道事業の包括的民間委託について

経済建設委員会



福井県高浜町

鳥獣被害対策事業について

もくじ

▶ 行政視察報告 …… 2
▶ 一般質問通告一覧 …… 8
▶ 委員会審査 …… 5
▶ 議決結果 …… 11

令和８年度行政視察報告

市議会では市政の発展と向上のため、委員会ごとに視察目的を定め、先進的な他の自治体等を訪問して研修を受けています。ここでは、令和８年度の各委員会の行政視察について報告します。

総務環境委員会

7/29（水）～7/30（木）

委員長	梯　泰弘
副委員長	樋口敏之
委員	佐々木美智子
委員	長田近夫
委員	望月克治
委員	矢島正恒

視察先　山梨県富士吉田市

視察内容

・ふるさと納税の取組について

富士吉田市は、人口規模や豊かな自然・観光資源を有する点など、茅野市との共通点が多い自治体です。同市のふるさと納税は、平成26年度の約３４０万円から令和６年度には約１０１億円まで成長しています。今回の視察で学んだのは、寄付額の大きさ以上に、「寄付を地域の力に変える」ための徹底した取組でした。

担当職員は、返礼品を登録して終わるのではなく、事業者と日常的に顔を合わせ、商品の磨き上げや価格設定、情報発信まで一緒に考えています。梱包資材を統一し、梱包方法などの講習会も定期的に開催。さらに、小中学生が描いた絵はがきや高校生による事業者紹介を返礼品に添えるなど、市民自身が地域の魅力を伝える担い手となり、行政だけでなく地域全体でふるさと納税を育てている姿が印象に残りました。

また、集まった寄付を地域課題の解決に生かすことも重視しています。鳥獣被害対策では、クラウドファンディングを活用してジビエ処理施設を整備し、捕獲した鹿を商品化するだけでなく、観光や教育にもつなげています。地域の「困りごと」を、新たな産業や地域の魅力へ変えていく発想です。

茅野市でも、返礼品の充実や事業者との連携、ふるさと納税を活用した財源確保に取り組んでいます。だからこそ、今回持ち帰るべきは、新しい制度を始めることではなく、今ある取り組みをさらに磨き、その効果を最大化する視点です。事業者との関わりを深め、市民も地域の魅力を発信する担い手となり、寄付してくださった方とのつながりを育てる。そして、得られた財源を地域課題の解決や産業振興へとつなげていく。ふるさと納税を「財源確保」で終わらせず、人・産業・地域をつなぐ仕組みとして、茅野市全体で育てていくことの重要性を学んだ視察となりました。



視察先　愛知県豊田市

視察内容

・水素社会構造戦略に基づく地域エネルギー・モビリティ政策について



豊田市で、水素を活用した脱炭素と産業振興について視察しました。豊田市は自動車産業をはじめとする製造業が集積し、産業部門からのCO_2排出割合が高いことから、「世界で一番水素をつかえるまち」を掲げ、水素社会の構築に取り組んでいます。

特徴的なのは、水素を使うこと自体を目的としていない点です。電気で対応できるものは電化し、電化が難しい工場の高温熱源や、長距離を走るトラック・バスなど、水素の強みが生きる分野を見極めて導入を進めています。

一方、水素ステーションがなければ車両が増えず、車両がなければステーションも採算が取れないという「鶏と卵」の課題があります。そこで国・県・市が連携し、FCトラック等の車両導入や水素燃料の価格差を支援。行政がまず需要を生み出し、民間投資やインフラ整備につなげる仕組みをつくっています。また、水素グリラーや燃料電池ミニカー教室など、市民や子どもたちが水素を身近に感じる取組も進め、技術や設備だけでなく、将来を担う世代への理解促進にも力を入れています。



茅野市を含む諏訪地域も内陸にあり、ものづくり産業が集積するとともに、中央自動車道が通る広域交通の結節点です。また、災害時を含め、地域でエネルギーをどう確保していくかも将来に向けた課題です。豊田市の取組をそのまま導入するのではなく、諏訪地域の産業、交通、再生可能エネルギーなどの特性を生かし、「何のために、どこで水素を使うのか」を見極めることが重要です。市単独ではなく、長野県や周辺自治体、企業とも連携し、地域に適したエネルギーの将来像を市民とともに考え、今後の政策につなげていく必要性を強く感じた視察となりました。

経済建設委員会

7/1（水）～7/3（金）

委員長	東城　源
副委員長	木村明美
委員	向山平和
委員	竹内　巧
委員	机　博文
委員	小尾一郎

視察先　滋賀県高島市

視察内容

・たかしま観光ビジョンについて

滋賀県高島市の概要

琵琶湖の西部に位置し、平成17年に5町1村が合併し、現在の人口は約4万4，000人の市です。

調査目的

メタセコイア並木や琵琶湖に鳥居が立つ白髭神社などの観光地を有しており、令和6年に「高島市総合計画」の観光分野の「たかしま観光ビジョン」について調査を行いました。

考察まとめ

令和4年に実施した市民アンケートでは「観光に関わる予定はない」と68％の市民が回答しているが、意識を変えていくには、更なる研究と工夫が必要なのではないかと考えます。茅野市においては、点在する観光名所を個別にPRするのではなく、歴史や生活文化、特産品などをストーリーで繋ぎ、満足度の高い体験型パッケージツアーとして高付加価値化を図ることで、また訪



れたい意識高揚を図ることも必要ではないか、またあれもこれもと選択肢は茅野市には多いが、何によって収入を得るのか、これだというものは何にするのかを議論してはどうか、と考えます。

視察先　京都府福知山市

視察内容

・水道事業の包括的民間委託について

京都府福知山市の概要

平成18年に、1市3町が合併し、京都市や大阪市からの多くの国道や舞鶴若狭自動車道、JR山陰本線・福知山線、京都丹後鉄道宮福線など、北近畿の交通の要衝となっており、人口は約7万3，000人の市です。

調査目的

業務を効率化するため平成31年度から開始した水道事業の包括的民間委託の取組について調査を行いました。

考察まとめ

技術者不足、育成の課題と先進的な方法で解決に取り組み第1次でのモニタリング評価と5年間での経費節減は民間委託の効果が現れている、また第2次包括委託の継続で、課題解決に向けた経営改革にしっかりと取り組んでいると感じました。委託先である地元の管工事協同組合や市内事業者を巻き込むことで、民間大手の



囲い込みの懸念を払拭し、地域経済への還元の部分で参考になるものと思うが、人口規模、水道事業の規模の違いや水道事業者の数等の違いがどのように影響してくるのかは、十分研究する必要があるのではないかと考えます。

視察先　福井県高浜町

視察内容

・鳥獣被害対策事業について

福井県高浜町の概要

福井県の最西端に位置し、西は京都府舞鶴市と接し「福井の西の玄関口」と言われています。南西の山脈、北は日本海に面するリアス式海岸の特徴を示す内浦地区には原子力発電所があり、漁業と比較的温暖な気候で育つ農産物の農業「海と農のまち」であり、人口は約9，300人です。

調査目的

農林水産省の鳥獣被害対策優良事例として取り上げられた「サルの複合的被害対策」の取組について調査を行いました。

考察まとめ

集落・行政の協働で、対策を実施し、そこに中間支援組織が関わることで、徐々に効果が現れ、住民意識が高まった説明においては、時間をかけながら努力されたことがうかがえ中間組織の重要性を感じました。群れの数や個体数の再確認が必要で、「サル出没予測システム」の活用は獣害対策に対して住民の意欲向上に繋がるのではないか、また高額なアプリの導入ではなく、可能な限りの位置情報の配信による追い払い方法の検討を進めるべきであること、加害サルの捕獲効果を上げるためには、茅野市単体ではなく富士見町や原村と一緒にサルの群れの調査が必要と考えます。





令和8年9月定例会

茅野市議会令和8年9月定例会は、8月25日（火）から9月18日（金）までの会期で開催しました。

9月定例会のあらまし

9月定例会では、市提出議案19件、議員提出議案1件、請願1件を審議しました。

各常任委員会では、委員会付託を省略した議案を除き、各議案、請願を審査しました。

委員会における主な議案の審査

予算決算委員会

（9月8日、10日、11日）

委員長　渋澤　務

議案第52号 令和8年度茅野市一般会計補正予算（第3号）について

全会一致で可決

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5億4，291万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ312億3，709万円とするもの。

議案第53号 令和8年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

全会一致で可決

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3，523万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ12億5，113万7千円とするもの。

議案第54号 令和7年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数で認定

歳入決算額は、321億8，267万4，608円。歳出決算額は、303億7，286万9，620円。歳入歳出差引残額は、18億980万4，988円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1億9，421万2，760円を差し引き、実質収支額は、16億1，559万2，228円。

委員会での討論（反対）

一番は、令和7年度の当初予算に指摘したことであり、具体的には、公共交通「のらざあ」の空白地帯の改善がなされていないこと、また、国民皆保険である国民健康保険特別会計へ要求した繰り入れがなされていないことである。さらに、DXについては、毎年多額のお金を費やしているが、本当に今、茅野市に必要なのか。世の中の趨勢とすれば、DXは当然のことであるが、過度のお金をそこに費やす必要があるのか。とても疑問である。システムを導入すれば、専門性の高い外部人材が必要になり、継続的な保守費用も発生する。監査報告にも、費用対効果の見地から検討が必要であると記されている。市民益の観点からも身の丈のデジタル化を考えるべきだと思う。補助金についても、真に市民要望を捉え、そこにお金を回すべきだと思う。また、不用額についても監査報告に、精度の高い予算要求ということも記されているので、真摯に受け止めて取り組んでもらいたいため、認定には反対である。

委員会での討論（賛成）

決算認定は、一会計年度の予算執行が適法かつ適正に行われたかを確認するとともに、その成果や課題を今後の財政運営や予算編成に活かしていくために行うものである。反対討論の中で、予算審議の段階で反対した事項に対して、対応が出来ていないと言う発言もあったが、予算審議は何を実施するかを判断する場であり、決算認定は、議決された予算が適法かつ適正に執行されたかを確認し、その成果や課題を今後の財政運営や予算編成に活かしていくための審議である。個別事業に対する様々な意見は尊重するが、それをもって決算全体を認定しないという考えは、決算認定制度の趣旨とは異なるものである。令和7年度は厳しい財政環境にあっても、市民生活を支える行政サービスを着実に実施し、適切な財政運営が行われたものと評価する。決算審査で明らかになった成果や課題を今後の予算編成や事務事業評価に活かし、よりよい市政運営につなげていくことを期待して、認定に賛成である。

議案第55号 令和7年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数で認定

歳入決算額は、48億8，414万1，969円、歳出決算額は、46億9，972万128円。歳入歳出差引残額は、1億8，442万1，841円となり、同額が実質収支額となった。

委員会での討論（反対）

滞納、未収入には様々な理由があるがやはり、所得が少ない方が多く含まれていて、物価上昇の中で、国保税も上がってきており、庶民が苦しい生活になっている。一つの要因として国保税が負担になっており、もう少し考慮しなければいけないので、認定には反対である。

委員会での討論（賛成）

国民健康保険税は、他の保険に入られない方を救う保険で、10年程前から長野県と茅野市が共同で運用をしている保険である。加入者の減少や、自営業者の減少が影響している面もあるが、市としては最大限の努力をして、保険の運営をしていることが確認できるので、認定に賛成である。



その他各事業の決算議案

議案第56号
令和7年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で 認定

議案第57号
令和7年度茅野市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
全会一致で 認定・可決

議案第58号
令和7年度茅野市下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
全会一致で 認定・可決

議案第59号
令和7年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で 認定

議案第60号
令和7年度茅野市湖東白井出財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で 認定

議案第61号
令和7年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で 認定

議案第62号
令和7年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で 認定

総務環境委員会（9月14日）

委員長　梯　泰弘

議案第46号 令和8年度茅野市役所非常用発電設備更新工事の請負契約について

全会一致で 可決

茅野市役所に設置されている非常用発電設備を更新するための請負契約を行うことに当たり、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

問 議案書の中に、変圧器も故障した際、施設への影響が大きいとあるが、変圧器については今回更新など、何もしないのか。

答 今回の工事とあわせて変圧器も更新をする。

問 今回の更新はただ単に新しいものになるのか、機能が違うものになるのか。

答 今回の工事は基本的に新品に交換する。

問 非常用発電設備のための燃料備蓄はどのくらいあるのか。

答 およそ3日間、72時間運転できる量を蓄えている。

問 非常用発電設備で、どのくらいの電力が賄えるのか。

答 庁内で使用するすべての電力が賄えるというのではなく、暖房であれば、3階から6階まで、エレベーターも西側のエレベーターだけなど、限定的となる。



問 非常用発電機は地下に設置されるということだが、移動式であれば水が入ってきたときなど移動できるが、据え置き型になるのか。

答 据え置き型である。

問 発電機は地下に設置され、地下に水が入らないように対策をとるとのことだが、発電機の周りに囲いとかを設置する考えがあるか。

答 地下に水が入らないように止水版等で対応する。万が一地下に水が入った場合、排水ポンプで排水をすることを考えている。

問 総合評価落札方式において価格以外で評価点が出されているが、どのような評価がされているのか。

答 価格以外の評価点としては、これまでの工事成績、同種工事の実績、社会貢献、地域貢献などボランティア活動しているかなどを評価点として加えている。

問 インフレスライド、デフレスライドは約款等で規定されていると思うが、今回の工期ではそういったことは生じないか。

答 インフレスライドについては、請負契約締結日から12月を経過した後というように、約款上では取り扱いになっているが、急激な物価変動などに関しては、別途協議をしていくという形になっている。

議案第49号 茅野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

全会一致で 可決

登録の印鑑に関する規定並びに出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律の施行に伴う特定在留カード及び特定特別永住者証明書に関する規定を整備し、並びに字句を整理するため、条例の一部改正を行うもの。

問 特定特別永住者証明書と特別永住者証の違いは何か。

答 特別永住者証については以前から日本にいる方が持っているもの。今回、特定がついたことは、マイナンバーカードと今まで特別永住者が持っていたものが一緒になったときに、特定という言葉がつくようなった。

問 特定特別永住者証明書になるとマイナンバーカードの更新という手続きがまた必要になるということでよいか。

答 特別永住者証明書については、16歳以上は、7回目の誕生日での更新となり、在留カードをお持ちの方もそうだが、マイナンバーカードはその在留期限に合わせた有効期限になっているため、今までは、まずは在留カードや特別永住者証を更新して、そのあとマイナンバーカードの更新に来なければいけなかったが、今度は同じ期間の更新が1回で済むこととなる。

問 茅野市では確認できる範囲で、特定特別永住者証明書を持っている方、特定でない特別永住者という方はどのくらいいるのか。

答 8月31日現在、特別永住者の方は32人、このうち、特定特別永住者証明書を持っている方はゼロ、在留カードの方で、一体化したカードを持っている方が今のところ4名いる。

議案第50号 茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

賛成多数で可決

議会議員の報酬額を改定するため、条例の一部改正を行うもの。

問 **今回改正となる報酬額は、市の職員でいうとどの役職等に該当するのか。**

答 手当を含まない係長、課長補佐の給与月額と同じくらいの額になってくるかと思われる。

委員会での討論（反対）

報酬審議会にも諮っていただき承認されたということは議員としては喜ばしいことだと思うが、現状市民からそれだけの報酬を上げてくれというような声も聞かれない。現状のままでよいと思うので反対。

委員会での討論（賛成）

附則にあるとおり、今回の改定の適用というのは、次回の一般選挙後の新しい任期からと記載されており、現職がみずからの懐を今潤すといったものではなく、次の任期を担う議員のための条件整備であるというふうに考えているので、この議案については賛成である。

請願2 「『将来にわたって『非核三原則』を堅持すること』を求める意見書の提出を求める請願」

全会一致で採択

被爆地の思いと国民の平和への願いを真摯に受け止め、非核三原則を堅持し、「核兵器のない世界」の実現に向けて一層の努力を求めるよう、政府関係機関に意見書を提出することを求める請願。

委員会での意見

この請願の願意には大変理解ができるので採択。意見書に関しては、議会として提出するにあたり文言等は精査をすべきである。

請願者からの聞き取りでも確認ができているので意見書案については、私たちがしっかりと作り込めばよい。

経済建設委員会（9月15日）

委員長　東城　源

議案第51号 茅野市下水道条例の一部を改正する条例について

賛成多数で可決

下水道使用料を改定し、及び徴収に関する規定を整備するもの。

問 **第20条第2項、第3項に「年1回」を加えた理由は何か。**

答 蓼科、白樺湖地区などの別荘は、在住していない期間が多く、水道の使用実態もないので、効率的な検針、使用料の徴収をするために、上水道と同様に年1回の検針及び徴収としたいため。

問 **年1回とすることで、納付の延滞金等に影響はあるか。**

答 税外収入の延滞金の徴収については、地方自治法、第231条の3第2項の規定で、条例を制定しなければ徴収することができないとなっている。茅野市は、延滞金の徴収条例を制定していない状況である。これは、平成16年9月定例会の、一般質問の際に「茅野市は、延滞金の徴収条例の制定は当面考えずに、収納率向上に取り組んで行く」と当時の市長が答弁をしている。

問 **今回の改定では、使用水量10立方までの上昇率が一番高く24％にもなっている。なぜそこの上昇率を1番高くしたか。**

答 使用水量が月10㎥まで、ふた月では20㎥までとなるが、茅野市ではこの中で収まるケースが多い。今後、生活形態の変化に伴い使用水量が変わってくることもあるかもしれないが、その場合はまた検討していく。

問 **改正理由の一つに「使用水量の多い区分に該当する利用者に、これ以上負担をかけることにより、大口離れに繋がる可能性がある」とあるが、現実には無いと思うがどうか。**

答 現在、500㎥以上の大口使用者による使用料金は、下水道事業全体の約3割になるが、経費を切り詰めている中で、そうした企業が経営にはちょっと向かないと判断され退くことになると、一般家庭の方により負担をかけなければならなくなるとの判断から、大口の上げ幅を緩くした。

問 **低所得者世帯の値上げが2割強となり影響が心配されるが、市ではその対応があるか。**

答 上下水道等のインフラ施設の使用料は、使用者自身が利用した分をお支払いいただくということで、公平性を確保していく。下水道の使用料金に対しどうするかではなく、市全体における施策の中で対応すべきものと考えている。

問 **公衆浴場の使用料についてはどう考えているか。**

答 現在、市の温泉施設の民営化なども含めて、検討がなされており、温泉施設の運営や経営に大きな影響を与える可能性もある。今回の改定では対応は困難であるため、今後検討していきたい。

委員会での討論（反対）

今回の改定では、使用水量の少ない方の区分を高くしていて、理科大生や高齢者などの、収入が少ない一人暮らしの方に負担重くかける仕組みになっている。

また、使用水量の多い区分に該当する利用者にこれ以上負担をかけることにより、企業などの大口離れに繋がってはいけないとの説明だが、現実には大口離れはありえないと思う。今のままでは赤字になることが考えられるということから、値上げはやむを得ないが、少量使用者の負担割合を多くするという考えには賛成できない。

委員会での討論（賛成）

徴収金額の中で使用水量30㎥以下が55％ぐらいあり、500㎥を超えるのは約30％となるが、件数で言えば0.3％でしかない。安定収入を確保するとなれば、基本使用料をしっかり見直すこの条例改定は妥当だと言える。





茅野市の課題を問う！

令和８年９月定例会一般質問通告一覧 ①

一般質問における実際のやりとり、市側の答弁については、記載の QR コードから動画でご覧いただけます。

質問者		件　　名	小項目・動画 QR コード	
 佐々木 美智子	1	持続可能な地域公共交通への転換と今後の検証	(1) 蓼科湖方面バス実証運行の目的と検証について (2) のらざあ運賃改定後の利用状況と効果検証について (3) 各交通手段を組み合わせた持続可能な公共交通体系について	
	2	農業とゼロカーボンを両立する営農型太陽光発電と八ヶ岳西麓地域のルールづくり	(1) 営農型太陽光発電を農業復興とゼロカーボンの両立策としてどう位置づけるか (2) 国の制度見直しを見据えた茅野市独自のルールづくりと庁内横断体制について (3) 八ヶ岳西麓３市町村による協議体の構築と共通ルールづくりについて	
 両角　直樹	3	大規模地震が起きた際の対応について	(1) 広域での被災対応について (2) 避難所の環境整備について (3) 上下水道等ライフライン耐震化の進捗状況について (4) 大規模地震を想定した訓練の実施について	
	4	生活道路における自動車の法定速度引き下げへの対応について	(1) 通勤など市民生活への影響について (2) 改正内容の市民への周知について	
 木村　明美	5	妊娠を望む方への支援について	(1) 不妊・不育症治療費助成制度の利用状況 (2) 必要な方に支援が届いているのか (3) 医療機関等との連携 (4) 妊娠前からの健康づくり（プレコンセプションケア）	
	6	温泉施設の持続可能な運営と今後のあり方について	(1) 利用状況について (2) 今後の維持管理について (3) 市民に必要な温泉施設の持続可能な運営について	
 竹内　巧	7	高齢者世帯のゴミ出し支援について	(1) 茅野市が描いている高齢者世帯のゴミ出し支援の姿とは (2) 描いているゴミ出し支援策の実現に向けたこれまでの取組と成果及び課題について (3) 第８期茅野市高齢者保健福祉計画に掲げるゴミ出し支援の具体的な推進策について (4) ゴミ出し支援を推進するための連携状況について	
 樋口　敏之	8	これからの行政サービスのあり方について	(1) 行政サービスのデジタル化（自治体 DX）の推進について (2) 業務のメリハリと行財政の効率化について (3) 人口減少下における真の行政サービスについて	
 渋澤　務	9	避難所環境の整備について	(1) 避難所空調設備の現状について (2) 避難所となる施設の平常時利用について (3) 今後の避難所の環境整備について	

令和８年９月定例会一般質問通告一覧 ②

質問者		件　　名	小項目・動画 QR コード
 木村 かほり	10	茅野市の保育環境の今後のあり方について	(1) 保育園の適正配置と次期保育園管理計画について (2) 少子化時代における保育の質と保育士確保について (3) 特色ある保育と地域資源の活用について (4) 小学校のあり方検討との連携について
	11	不登校児童生徒の学びと居場所を支える支援体制の充実について	(1) 学校内のおける居場所づくりと支援体制の成果と課題について (2) 民間支援機関との連携による多様な学びの保障について (3) フリースクール等を利用する家族への支援のあり方について
 梯　泰弘	12	将来を見据えた重点投資と令和９年度予算編成について	(1) これまでの市政運営の評価と課題について (2) 事務事業評価の運用と活用について (3) 本市が実現したい将来像と各施策の位置付けについて (4) 将来像の実現に向けた重点投資の考え方について (5) 自主財源確保に向けたふるさと納税をめぐる現状と課題について (6) 令和９年度予算編成における方針について
 東城　源	13	消防団編成の効果及び課題について	(1) 茅野市消防団総合計画策定の経過 (2) 地元地区、区との調整で表面化した課題は (3) 市及び地域が負担する経費は軽減できているか (4) 団員の負担軽減は図れているか (5) 再編後の課題と対応は
	14	八ヶ岳西麓ワイン特区が地域にもたらす効果について	(1) 八ヶ岳西麓ワイン特区認定の経過は (2) 八ヶ岳西麓ワインバレーの現状は (3) 地域づくり及び地域経済の発展への影響は (4) 今後の展開について
 両角　実晃	15	スケートセンターの存続とスケート文化の継承・拡大について	(1) スケートセンター改修費の財源について (2) 国の支援の獲得を確実なものにすることについて (3) 県への働きかけについて (4) スケート人口の増加やスケート文化の継承・拡大について (5) 今後のスケジュールや手順について (6) スケートセンターに描く夢や理想について
 伊藤　勝	16	茅野市の婚活の取組について	(1) 婚活事業の現状と今後の展開は
	17	教育行政について	(1) 小中学校の児童生徒の通学路の指定の判断は (2) 音楽室等のエアコンの設置率と今後の対策は
	18	茅野市における歴史文化の発掘及び継承について	(1) 文化人等との関わりをどのように捉え、今後これらの記録を後世に語り継ぐことは考えられないか
 机　博文	19	ニホンザルによる農作物の被害状況と対応策について	(1) 農作物被害状況と茅野市鳥獣被害防止計画における対応について (2) 令和６年度より実施された行動追跡調査の活用と、個体数調査・管理について (3) 長野県第二種特定鳥獣管理計画の第５期ニホンザル管理計画管理ユニットについて (4) 他自治体で実施している総合的被害対策の取組事例の活用について (5) 効率的な追い払いを実施するための方策について (6) 今後の市の対応について

令和８年９月定例会一般質問通告一覧 ③

質問者		件　　名	小項目・動画 QR コード	
 野沢　明夫	20	審議会への諮問について		(1) 行財政審議会のような分野が広範囲の場合、どのような視点で諮問しているか。 (2) 上下水道事業運営審議会への料金改定の諮問のように限定的な内容との比較の上で、事業分野ごとの諮問はできないか (3) 諮問意図と異なる答申に対する対応をどのように捉え、対応するか
	21	茅野駅東口の交通混雑の解消について		(1) 現状と対応策は (2) 市民館施設との供用を含めた再整備は考えられないか
	22	教育現場での生成 AI 活用について		(1) ガイドラインの概要は (2) 今後予想される利用方法に不安や課題はあるか
 向山　平和	23	子どもたちに何が起きているのか	(1) 茅野市はこれらの増加についてどのように考えていますか (2) 新たな対策が加えられたものはありますか (3) 全国学力テストで茅野市では心配なことはありましたか (4) 授業中寝てしまう児童生徒はいますか (5) 家庭でのタブレット、スマホ等の使用状況のアンケートをぜひ取っていただきたい (6) 保護者への注意喚起をぜひやっていただきたい	
 小尾　一郎	24	茅野市の水道水と蓼科天然水について		(1) 茅野市の水道水の特徴について (2) 美味しい水道水について (3) 茅野市の水道料金について (4) 蓼科天然水について (5) 茅野市の天然水についての茅野市の方針について
 望月　克治	25	小学校の今後のあり方について	(1) 検討はどこで行われていますか (2) 市民への素案はいつ出されるのですか	
	26	地域医療を維持するための市の役割について	(1) 病院経営の状況は把握できていますか (2) 地域医療構想への対応は何か検討されていますか	

検索！ Check!

議場で行われる本会議は ライブ中継と録画映像でご視聴いただけます。

議場で行われる本会議は、下記の予定に合わせてビーナチャンネル（12Ch 茅野市コミュニティ放送）とインターネットでライブ中継を行います。テレビで、ネットで、ぜひご覧ください。

なお、本会議や一般質問等の録画映像は、後日議会ホームページで配信します。

詳しくは議会ホームページをご確認ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますので、併せてご利用ください。

録画映像 QRコード

茅野市議会 検索

会議録 QRコード

令和８年９月定例会　市提出議案　議決結果

番　号	件　　名	付託先委員会等	議決結果
議案第 45 号	令和８年度茅野市一般会計補正予算（第２号）の専決処分の承認を求めることについて	付託省略	承認
議案第 46 号	令和８年度茅野市役所非常用発電設備更新工事の請負契約について	総務環境委員会	可決
議案第 47 号	茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて	付託省略	同意
議案第 48 号	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて	付託省略	同意
議案第 49 号	茅野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第 50 号	茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第 51 号	茅野市下水道条例の一部を改正する条例について	経済建設委員会	可決
議案第 52 号	令和８年度茅野市一般会計補正予算（第３号）について	予算決算委員会	可決
議案第 53 号	令和８年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について	予算決算委員会	可決
議案第 54 号	令和７年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第 55 号	令和７年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第 56 号	令和７年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第 57 号	令和７年度茅野市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	予算決算委員会	認定・可決
議案第 58 号	令和７年度茅野市下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	予算決算委員会	認定・可決
議案第 59 号	令和７年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第 60 号	令和７年度茅野市湖東白井出財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第 61 号	令和７年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第 62 号	令和７年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略	同意

令和８年９月定例会　請願・陳情・議員提出議案　採決結果

番　号	表　　題	提出者	付託先委員会等	議決結果
請願２	「将来にわたって『非核三原則』を堅持すること」を求める意見書の提出を求める請願	茅野市９条の会	総務環境委員会	採択
陳情７	「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める陳情書	長野県教職員組合諏訪支部	議場配布	—
陳情８	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」を求める陳情書	長野県教職員組合諏訪支部	議場配布	—
議員提出議第４号	「将来にわたって『非核三原則』を堅持すること」を求める意見書案の提出について	梯泰弘議員	付託省略	可決

ちの市議会だより 第59号
発行日：令和8年12月1日発行　発行：茅野市議会　編集：議会広報部会　印刷：株式会社中央企画
〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX 0266-73-7936 https://www.city.chino.lg.jp/site/chino-cc/

令和8年9月定例会　賛否が分かれた議決結果

賛成…○　反対…●　※議長は採決には加わりません。

	番号	件名	議決結果	両角直樹	梯泰弘	向山平和	佐々木美智子	渋澤務	木村明美	竹内巧	木村かほり	長田近夫	東城源	机博文	小尾一郎	樋口敏之	野沢明夫	伊藤勝	望月克治	両角実晃
市提出議案	50	茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	51	茅野市下水道条例の一部を改正する条例について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	54	令和7年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数により認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	55	令和7年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数により認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

上記以外の議案は、全会一致により可決されました。

市民のみなさまにお願い

議員の寄附行為禁止について

公職選挙法により、選挙区内における寄附行為が禁止されています。

- 政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止
- 政治家の関係会社等が行う寄附の禁止
- 政治家の後援団体が行う寄附の禁止
- 政治家からの年賀状等、あいさつ状の禁止（答礼のための自筆を除く）
- 政治家からのあいさつを目的とする有料広告の禁止

区、自治会や各種団体等での行事や催事へ議員をご案内いただく際は、必要経費分としての会費を明示してご案内いただきますようお願いします。

みなさんもぜひ傍聴にお越しください！

市議会の本会議及び各常任委員会はどなたでも傍聴できます。予約の必要はありません。

本会議の傍聴を希望される方は、直接議会棟3階までお越しください。

なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。



12月定例会本会議予定

11月27日（金）　開会、提案説明
12月　8日（火）～　一般質問
12月18日（金）　委員長報告、採決、閉会

※変更となる場合があります。
日程は、確定後に議会ホームページに掲載します。

ちの市議会だより第60号は、3月1日発行予定です。